



田上中学校だより

この学校だよりは、本校HPにてカラー版を公開中です

令和6(2024)年3月19日発行 第14号(最終号)

<学校教育目標>

たくましい生徒
なかのよい生徒
かながえる生徒
みずから行う生徒

ともに創る「ひとつ上」の田上中

3月12日、66名の3年生が、卒業証書授与式に臨み、りっぱに巣立ちました。こんなにうれしいことは、ありません。卒業生の保護者の皆様、ならびに、ご多用の中ご臨席いただきましたご来賓の皆様、また、ご臨席いただけなかった地域の皆様にも、ここまで支えていただきましたこと、厚くお礼申しあげます。

式当日、在校生代表として列席した■■■■さんは、「先輩方は、学年を問わず協力や応援をすることができ、私たちにいつも真剣な姿を見せてくださる最高の存在でした。」「今まで、私たちの手本となるような姿を示してくださり、本当にありがとうございます。先輩方の輝かしい未来と、ご健康をお祈りします。」と、別れの言葉を送りました。

また、卒業生代表の■■■■さんと■■■■さんは、「在校生のみなさん、今まで私たちを慕い、ともに歩いてくれてありがとうございます。3年間は、決して長くありません。自分のやるべきこと、仲間と過ごす時間を大切にしてください。これからの田上中学校を動かしていくのは、あなたたちです。さらに盛り上げていくことを期待しています。」「卒業は終わりであると同時に、始まり。一歩ずつ前へ進み、支えられる側から支える側へと成長していきたいです。私たちは、この学校で学んだことを胸に、これからも歩み続けます。」と、感謝と決意を言葉にしました。

卒業生の歌は、『群青(ぐんじょう)』。巣立ちの思いを、次の歌詞にのせています。

♪ 響け この歌声 響け 遠くまでも あの空の彼方へも 大切な全てに 届け また会おう 群青の街で

ここまで、10,133名の卒業生たちが、田上中での学びや経験を通して積み上げてきた確かな「積み木」。そして、この「積み木」を、今度は在校生みなさんが引き継いで積み上げていくのです。脈々と続く「積み木」づくりのリレーと言えますね。受け継がれてきた1万人をこえる思いや願いに心を寄せながら、さらに「ひとつ上」の田上中を創ってほしいと思います。

3月22日は、本年度の修了式です。田上中は、新たな春を迎えようとしています。

あなたの中にある、やりたいことにつながる「種」

2月2日に、ゲストをお招きして2年生の平和学習を実施しました。

『アフリカの元子ども兵が教えてくれたこと ～ひとりひとりに未来をつくる力がある～』と題して、■■■さん(認定NPO法人テラ・ルネッサ)から、コンゴ民主共和国における紛争によって「平和」のない村に暮らす子どもたちの現状などについてのお話を聞きました。

「なぜ、戦争は起きるのか?」「なぜ、子どもが兵士にされるのか?」「紛争が終わってもなお続く苦しみとは?」「私たちにできることは何か?」など、2年生がさらに深く考えるための「視点」を与えていただきました。

そうした貴重なお話に加えて、心に強く残り、これからの私たち1人ひとりの生き方のヒントになったのが、■■■さんが、なぜ国際協力や支援の道を志すようになったのか、についてのお話でした。

3年生担当の■■■先生より

「相手の気持ちを考え、お互いを尊重し、何事にも挑戦できる生徒集団」を学年目標に掲げ、3年間を過ごしてきました。

中学校生活のなかで、普段から助け合いができる集団でした。いろいろな場面でチャレンジする機会も多く、その1つひとつの頑張りに拍手を送れる仲間でもありました。ときには優しい眼差しで見守り、チャレンジを応援できる優しさもありました。

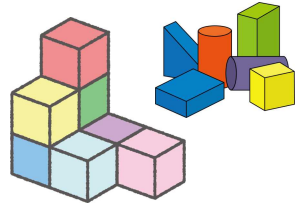
田上中学校で得たものを、次の進路先でも自信を持って発揮してください。田上中より応援しています。

■■■さんは、次のようにおっしゃっています。

あなたのやりたいことは、あなたの過去にしかない。もし、「私は、将来、何がしたい?」と悩む人がいたら、あなたのここまでの中で、あなたの心が動いたことを振り返ってごらんください。きっとそこに、やりたいことにつながる「種」があることでしょう。私の場合も、そうだったのです。

夢や志(こころざし)の種。「あなたの心の中に、もうしっかりとあるのではないですか?」と■■■さんは、教えてくれたのではないでしょか。

「将来、どうするか?」。あせることはありません。あなたの心が動かされるような経験を、この後も、たくさんたくさん積み上げていきましょう。



▲講話のようす

1年生担当の■■先生より

学年目標

- ・一人ひとりの違いを認め、お互いを尊重しあおう
- ・仲間とともに主体的に、意欲的に取り組もう
- ・目標を持って挑戦する気持ちを大事にしよう

これは、学年フロアに掲示してある学年目標です。この1年間、共に過ごしてきて、様々な場面で友達へ思いやりのある言動、行事や学習で協力し、成し遂げようとする姿を見てきました。とてもすばらしいです。君たちは、4月から2年生になります。後

輩ができて、先輩になります。このすばらしい姿を後輩に示し、そうすることで先輩としての自覚と自信を持ってほしいと願っています。



2年生担当の■■先生より

中学校生活も残すところあと一年となりました。部活動や生徒会活動では、徐々に先輩としての振る舞いを身に付けつつあると思います。来年度は、最上級生として、これまで先輩方が築いてきた伝統を受け継ぎつつ、新たな伝統の1ページを「開く」とともに、自分の進路を切り「拓く」ことにも力を注がなくてはならない一年です。辛いこともあるでしょうが、そんなときこそ、仲間とともに歩むことを忘れないでください。来年度も、「みんなでみんなを伸ばす」学年の一員として、他者と磨き合い、学び合える関係を深めましょう。



「きみは かんちがい してるんだ」

みなさんもよく知っている漫画『ドラえもん』。とてもおもしろくて、大人気の作品ですね。

その中に、ドラえもんの言葉がとても心に響くお話があります。次に紹介します。（以下、「右か左か人生コース」てんとう虫コミックス第42巻より。）

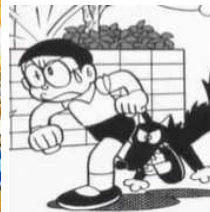
みなさんもご存じののび太。彼が、ドラえもんにねだります。分かれ道で迷うことがあったら、正しい道を教えてくれる道具を出してくれ！と。そこでドラえもんが出したのが、「コースチェッカー」。



分かれ道に出くわしたときに使うと、少しだけ未来が見えるというものです。よろこんだのび太は、コースチェッカーを使って、しずかちゃんの家へ行くのに一番いいコースを教えてください。おかげで楽な道を行けると思いきや、見えていたのは少しだけの未来…。その道には、その後、思いもよらない困難が待ち受けています。そして、どちらの道を選んででも何かしらの困難がそこに待っていて、のび太はドラえもんに泣きつきます。そんなのび太に、ドラえもんは言います。

「きみは かんちがい してるんだ。」

ドラえもんは、それは、どういうことなのかをのび太に教えるのです。それが、左の2コマです。確かめてみましょう。



ドラえもんからこの言葉を聞いたのび太は、しずかちゃんの家に向けて一歩踏み出していきます。しずかちゃんに会うためにどんな困難も乗り越えようとする一歩です。



本年度の「田上中学校だより」は、本号をもちまして終了です。1年間、ありがとうございました。

来年度も、学校で指導している大切なこと、生徒たちの活動ぶりなどを中心に、充実したものとなるように努めてまいります。

(発行人：校長 ■■■)

充実した「春休み」にしましょう！

4月当初の予定

4月	8日(月)	新任式 始業式 8:00 から新クラス等を掲示 新3年生…昇降口 新2年生…図書室前
		8:25 から朝の会 続いて学活 入学式(13:30～)
	9日(火)	身体測定 教科書配布
	10日(水)	生徒会対面式 給食スタート

※このあとの予定の詳細は、次年度の第1号にてお知らせいたします。